

「2023年度夏季賞与」申し入れ！

要求額：基本給額の1.8カ月
支払日：2023年7月7日(金)

「2023年度夏季賞与」については、4月20日に開催した自動車業務委員会、5月13日に開催した本部執行委員会での議論を経て、5月17日に会社に対して申し入れを行った。

ジェイアール四国バスの2022年度決算はコロナ禍の影響が続いたことに加え、物価上昇が経費増を招き、前期、前々期に次ぐ大幅な営業赤字となったものの、補助金等により4期ぶりの黒字決算となった。この間、組合員は「安全・安心輸送」に努め、日々奮闘するとともに、効率化施策のみならず、組合員と家族にも影響の及ぶ施策にも協力するなど、責任組合としての取り組みの成果としての黒字であると受け止めている。

そして、コロナ禍が新たな局面を迎えた今こそ、2023年度事業計画で掲げた営業損益での黒字化を目指し、労使一丸となった取り組みが求められている。今後の経営回復には「人財」が欠かせず、「夏季賞与」を通じた「人への投資」が必要不可欠である。組合員とその家族の生活を守るためにも、将来にわたり会社の担うべき社会的使命を果たし続けるためにも、今交渉に最後まで精一杯取り組んでいく決意である。（別紙参照）

経営回復に必要不可欠な「人への投資」である夏季賞与を勝ち取ろう！

以 上

J R四国労組申第20号
2023年5月16日

ジェイアール四国バス株式会社
代表取締役社長 高須賀 浩 殿

四国旅客鉄道労働組合
執行委員長 大谷 清



2023年度夏季賞与の要求について

ジェイアール四国バスの2022年度決算は、コロナ禍の影響が続く中、ダイヤ改正や運賃改定等により収入の確保を図ってきたものの、燃料価格の高騰をはじめとする物価上昇が影響し、前期、前々期に次ぐ大幅な営業赤字となったが、補助金等により4期ぶりの黒字決算となった。2023年度事業計画では、継続する赤字基調から脱却し、営業損益で安定的に黒字計上が可能な経営体質とすることを最重要課題と掲げ、早期に経営安定化を図っていくこととしたが、経営環境は非常に厳しい状況が続いている。

こうした中、J R四国労組組合員は「安全・安心輸送の確立」に努め、日々奮闘してきた。そして、会社の危機的状況を理解し、さまざまな効率化施策のみならず、待命休職、賞与の不支給、定期昇給の一部凍結、労働時間の延長といった組合員と家族にも影響の及ぶ施策にも協力するなど、責任組合として責任と自覚を持った運動を展開している。

すでにアフターコロナの局面に差し掛かろうとする中、今こそ反転攻勢を期すべき時期にあり、この間会社を信じ最大限協力してきた組合員の想いに応える必要がある。したがって、「人への投資」を通じた経営改善を推し進め、将来にわたりジェイアール四国バスの社会的使命を果たし続けるべく、労使一体で取り組んでいくため、2023年度夏季賞与を下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

記

- 1 要 求 額 基本給額の1.8ヵ月分
- 2 支 払 日 2023年7月7日（金）

以 上

J R四国労組申第 2 1 号
2 0 2 3 年 5 月 1 6 日

ジェイアール四国バス株式会社
代表取締役社長 高須賀 浩 殿

四国旅客鉄道労働組合
執行委員長 大谷 清



2 0 2 3 年度準組員（契約社員）の夏季賞与の要求について

2 0 2 3 年度準組員（契約社員）の夏季賞与の要求については、士気高揚の観点から下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

記

- 1 パートナー社員（定年退職再雇用者）
(1) 基準額 契約基本賃金の 1. 8 ヶ月分

- 2 パートナー社員（月給・日給適用者）
(1) 基準額

調査期間内の勤務日数	運転係	構内運転係	営業係等
65 日以上 120 日未満	133, 000 円	118, 000 円	102, 000 円
120 日以上	266, 000 円	236, 000 円	204, 000 円

- 3 サポーター社員（時給適用者）
(1) 基準額

調査期間内の労働時間	支給額
240 時間以上 350 時間未満	104, 000 円
350 時間以上 450 時間未満	115, 000 円
450 時間以上 550 時間未満	126, 000 円
550 時間以上 650 時間未満	138, 000 円
650 時間以上 750 時間未満	149, 000 円
750 時間以上 850 時間未満	161, 000 円
850 時間以上 950 時間未満	172, 000 円
950 時間以上	183, 000 円

- 4 支払日 2 0 2 3 年 7 月 7 日（金）

以 上